

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	まごころ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語療法士を取り入れて、専門的な言語強化を行っている。	言語療法士の指導を職員もを行いSTが実施されない時にでも取り入れられるようにしている。	言葉の取得ができるように、全体ではなく個別として行っていくこと。
2	活動内容を固定化しないように、月の活動を決めて取り入れている。	どの曜日に通所しても、様々な活動に参加できるようにランダムに化している。	職員一人ひとりの考えや、提案を充実化して、預かりではない活動ができるようにしていく。決められたことだけでなく、発想力・想像力を常に更新していくこと。
3	季節の行事や、調理レク、外出レク、誕生日会等を豊富にしている。	ホームページのブログで公表して皆様にどのような活動をしているのかを伝わりやすいようにしている。	ブログを更新した際には、各家庭にもお知らせして、見ていただけるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内の環境状況	STを受ける時に、集中ができる防音の個室など用意できると良い。	集中ができるように、STがない時には、静かな活動や声の大きさ等を考えていく。
2	父母会などができるような環境がつかれないこと。	保護者様との交流がすくない為、保護者様同士の子育ての悩みや、意見交換の場が作ること。	親子型参加を設けて年に数回行えるプログラムを用意していく。
3	災害に対する取り組みなどに対する意識が低いこと。	避難訓練等の様子や、災害があったときの対応など見え化していけない。	お便りなどで見え化したえい、ご家庭ではどのように対応してるかも時期を決めて調査していく。